

(第2号様式)

八商工定第2772号
令和8年 3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立八重山商工高等学校
校長 下野 智 昭
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月18日 (金)16時～17時	場所	会議室	出席 状況	評議員3名(2名委任)
第2回	日時	令和7年12月19日 (金)16時～17時	場所	会議室	出席 状況	評議員3名(2名委任)
第3回	日時	令和8年3月13日 (金)16時～17時	場所	会議室	出席 状況	評議員3名(2名委任)

2 学校評議員に求めた事項

下記の項目について全日制、定時制の状況を報告し意見を求めた。
①学校の教育目標及び経営方針について、②学校の行事計画、行事等の近況について、③進路状況について、④生徒指導状況について、⑤生徒の活躍について、⑦学校評価と課題について

3 学校評議員の意見

- ①観光分野が好調であり、観光コースの募集定員も増加している。郷土の人材育成に期待している。
- ②資格取得が前年度比較で大幅に増加し、学校全体が勢いづいている。地域連携の成果も見られる。
- ③就職後の定着指導の継続と離職者に対する情報提供について、行政の連携して取り組んで欲しい。
- ④インクルーシブ教育の充実に向け、全定で目標を設定し取り組んで欲しい。
- ⑤地域公民館との連携は、伝統継承など地域活性化に繋がっている。

4 学校運営に反映した事項

- ①全定ともに資格取得に向けた支援の強化し、進路決定率の向上にも繋がった。
- ②姉妹校や石垣市の交流事業を通して学習効果拡大に繋がった。
- ③薬物防止や性教育等の教育課題に関係機関と連携して取り組んだ。
- ④メール送信機能を活用した情報発信及び広報により、危機管理体制の強化に繋がった。
- ⑤地域行事の参加により、地域の伝統継承及び地域活性化に貢献した。

5 課題その他

- ①長期欠席者対策として、懸念者の早期対応に学校・家庭・自治体と連携して行う必要がある。
- ②キャリア教育計画により、希望進路の早期決定及び就職後の定着指導に取り組む必要がある。
- ③防災訓練及び交通事故の未然防止に近隣住民の協力を得ながら取り組む必要がある。
- ④働き方改革の推進に向け、個人裁量の時間確保に向けた工夫改善が必要である。